円居（まとゐ）

令和5年10月27日(金)
備前市立備前中学校
校長　藤森　卓麻
0869-64-3365

備前中　文化の秋

― 合唱祭♪ 10／21 ―

「響喜乱舞　～復活　備前中サウンド～」

このスローガンのもと、三年ぶりの合唱祭が行われました。一学期から曲決めなど合唱祭に向けてスタートしましたが、三年生にとっても初めての合唱祭、教職員にとっても久しぶりだったり初めてだったり・・。楽しみと若干の不安も入り交じったスタートだったかもしれません。二学期に入り音楽の授業を中心に練習が進み、十日前からクラスでの練習が本格化。廊下に出て練習するクラスもあれば、先輩の歌声を参考にしようと見学に出かける下級生のクラスもありました。クラスから学年、そして学校全体へ、合唱祭へ向かっていく空気が広がっていきました。本番前日の六時間目に、学校全体に響き渡る歌声を聴きながら、私の中ではこの合唱祭は成功でした。

当日、体育館は全校生徒に加え、保護者の皆様、地域の方々でいっぱいになっていました。先頭は一年生。子どもたちは緊張もしていたはずですが、そんな心配はよそに見事に歌い上げることができました。続く上級生も言うまでもなく、これまでクラスの中で乗り越えたことからくる自信のようなものが歌声から伝わってきました。来年へ向けて下級生への道標となってくれました。順位はついてしまいますが、子どもたちが本来持っている前向きの力が発揮され、集団としても、（教職員にとっても）成長できた合唱祭だったと思います。保護者の皆様の応援も、子どもたちにとって大きな励みとなりました。本当にありがとうございました。

※試験的にZOOM配信をしてみました

急なお知らせとなりましたが、配信のための機器が前日に揃ったことから、試験的に配信をしてみました。マイクの不具合があり、配信中に何度も調整を重ね、三年生の発表のときにはなんとか安定した配信ができました。20～30名の方が視聴されていましたが、一、二年生の配信時には音声が乱れたようで申し訳ございませんでした。今後も、必要な場面で効果的な活用を考えていきたいと思います。

― 弁論大会10／20 ―

合唱祭前日には、校内弁論大会が開催されました。各学年の代表が二人ずつ、様々なテーマで発表をしました。私は学年弁論大会から発表を聞かせてもらいましたが、学年が上がるにつれて、見る方向が変わっていくのが面白かったです。一年生は、世の中の疑問に感じたことを自分で調べて、それに対して思ったことを述べたものが多かったです。それが学年が上がるにつれ、同じ調べるにしても、その出来事の「背景」についてさらに深く調べて考えるようになります。「思う」から「考える」へ進んでいきます。（※『円居』6月9日発行）そしてさらに、自分に目が向くようになります。小さい頃の向き方とは違います。それは、周りとの関わりの中での「自分」です。友人との関わりの中での自分。家族に支えられている自分。様々な課題を抱えた社会に生きている自分。あらためてそんな自分に目を向け、真剣に考え、そうやって出てきた自分の言葉には、聴く人を引きつける力があります。

三年生の二人が、備前中の代表として備前市弁論大会（10／31日生中）に出場します。頑張ってください。

こういった文化的行事を通して、子どもたちは自分で考え、お互いに表現し合い、集団の中で交流しながら自ら行動するという体験を積んでいきます。いずれ社会で自立するための力をつけるためにも、今後もこういった行事は大切にしていきたいと考えます。

次へつなげる・・・

― 生徒会役員選挙 ―

10月26日、生徒会役員選挙が行われました。立ち会い演説会では、候補者が「目指す備前中学校像」について語りました。よく出てきたワードは「楽しく」。ほかには「協力」「団結」といった集団を意識した言葉もあれば、「一人一人の意見」「個性」「居場所」といった個人を意識した言葉も出てきました。いずれにしても、立候補者みんなが、これからの備前中について真剣に考え、本気で取り組んでいこうという姿勢が感じられました。演説会の後には、市の選挙管理委員会からお借りした記載台や投票箱を使用し、その場で投票が行われました。開票結果を受け11月には新旧役員が引き継ぎを行います。

※備前中HPのお知らせ

↑
備前中HPから「学校の様子」がご覧になれます。